

なんケア通信

第11回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：平成29年10月10日（火）18:00～19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール

参加者：36名（地域包括支援センター 1名、介護事業所関係者 22名、
医療関係者 6名、調剤薬局 2名、その他 4名、未回答1名）

メインテーマ：在宅看取りを支える

～幸せな人生の最期を迎えるための支援～

事例紹介

『ショートステイ千乃恵における看取りケアの取り組みについて』

有限会社コリウス ショートステイ千乃恵
管理者 齊藤 亮 様

『グループホームつばき苑における看取りについて』

グループホームつばき苑
管理者 菊池 朋 様

メインテーマを「在宅看取りを支える」とし、第二回目となりました。前回の一回目では「在宅での自然な看取りをサポートした事例」について訪問看護ステーションよりご紹介いただきました。

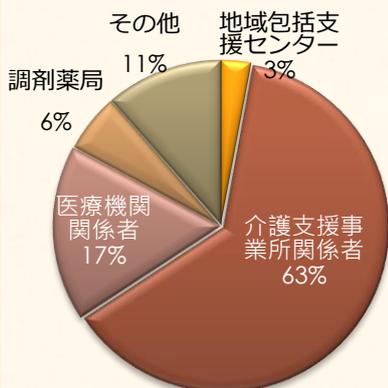
今回はテーマを広義に捉え、またこれからの看取りの場についての可能性を学ぶべく、看取りのご経験があるショートステイ、グループホームに事例紹介を依頼し、施設における具体的な体制、対象となる方、各職種また協力機関との連絡・連携の方法、ご家族との関わり方、取り組む上での課題、そして理念について丁寧にご説明頂きました。ご本人・ご家族が「終末期をここで過ごしたい」とお話できる環境・関係性にあること、そしてそれを温かく受け止め、力強く体制を整え築かれてきたこと、それらが終末期での断片的な介入のみではなく、ご本人・ご家族とのこれまでの継続的な生活への関わりと信頼関係の上に成り立っていることを学ばせて頂きました。このような学びや意見交換が活力となり、南部圏域独自の地域包括ケア作りやネットワークの拡大・創造に繋がれば幸いです。

参加者の皆様からは「ショートステイとグループホームでの看取りの違いと実際の対応例等がよくわかり、働いている方の思いも知ることができ、とてもためになりました。」「事例についてもっと詳しく聞きたかった。」「姿勢、思いに衝撃を受け、見習いたいと思います。」など多くのご意見をいただきました。

次回が「在宅看取りを支える」をメインテーマとしたシリーズの最終回となり、一般講演を予定しております。今後ともご指導ご支援頂きますようお願い致します。

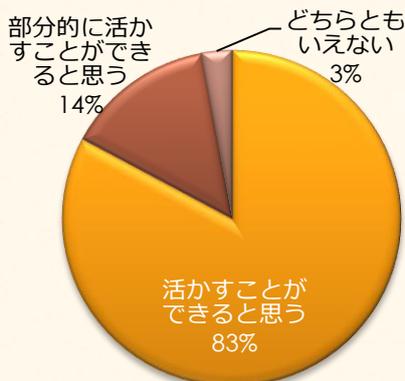
アンケートの
集計結果

参加者



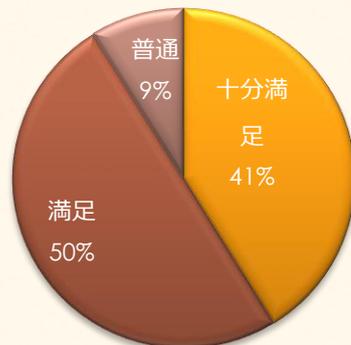
- 地域包括支援センター
- 介護支援事業所関係者
- 医療機関関係者
- 調剤薬局
- その他

今後、地域での活動に
活かすことができそうですか？



- 活かすことができると思う
- 部分的に活かすことができると思う
- どちらともいえない

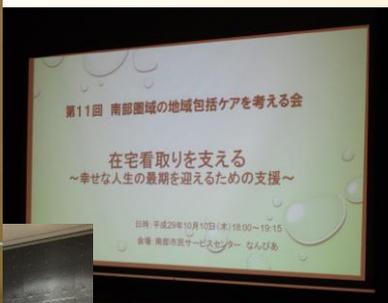
なんケアの会に参加して
いかがでしたか？



- 十分満足
- 満足
- 普通



会場の様子



皆様からの
ご意見・ご感想



・グループホームの入居者さんと家族として日々過ごしているということ、印象的でした。医療者がいない中で職員全員での看取りをしていること、すばらしいと思います。何もさみしいこともなく、最期をむかえられていると思います。今後も続けて下さい。そういった姿勢・思いに衝撃をうけ、見習いたいと思います。

医療機関関係者

・ショートステイとグループホームでの看取りの違いと実際の対応例等がよくわかり、働いている方の思いも知ることができ、とてもためになりました。

介護支援事業所関係者

・引き続き、よろしくお願いいたします。他の事業所の事例に触れられるのは良い機会になりました。

地域包括支援センター

次回開催の
お知らせ

開催日時：平成29年12月12日（火）18:00～19:15
会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール

